

# 明るく、ゆつたりとした広さ 市立中央図書館オープン

市立中央図書館(旧栗盛図書館)が九月一日にオープンし、多くの市民でにぎわっています。同図書館は、昭和二十六年、栗盛順吉氏から「財団法人栗盛教育団」の敷地、建物、蔵書などの寄贈を受け、二十八年、市立図書館として開館しました。しかし、建物の老朽化と蔵書等の増加により昨年七月全面改装に着手、今年三月に完成し、この一日オープンの運びとなったものです。今回は、写真で新装なった図書館をご案内します。



▲本の貸し出し、返却や登録などは、この受けでどうぞ。

▼一般図書数は約6万冊。明るい窓際には机とイスが並べられています。

▼イスやじゅうたんが敷かれ子供たちが、くつろいで読書できるよう余裕あるスペースがとられている児童図書コーナー。



市立中央図書館は、建築面積およそ九百八十六平方メートル、床面積二千二百平方メートル、鉄筋コンクリート造り地下一階、地上三階の近代的な建物で、これまでの図書館と比べて約三・二倍の広さになっています。

## ＜平面図＞



右図のように、一階には一般図書室、児童図書室、新聞雑誌コーナー、受付そしてブックモービル。おとり号のための書庫が設置され、ガラス窓に囲まれた明るい作りになっています。また、二階は参考図書室、資料室、視聴覚室、閉架書庫、事務室、会議室などに、地下と三階は機械室などに使われています。このほか、体の不自由な方々にも利用できるように、入口にはスロープや自動ドア、専用トイレなども備え付けられています。

## 市長の対話ノート



No. 75

「まごころ秋田」高校総体に「東北の緑に染れ、君の青春」をテーマに、五十九年全国高等学校総合体育大会が、来年秋田県内各都市で開催されます。

大館市では「重量挙げ」と「水球」が会場となりますので、今年の大会場である名古屋市に私が、豊橋市に月居教育長が次期会場引継ぎのために参加してまいりました。

今年の大会は、東海四県(愛知、三重、和歌山、岐阜)でしたので、どの会場施設もすばらしい限りでしたが、来年の秋田会場は一県での引受け(水泳の飛込競技だけが福島県)だけに、会場施設では見劣りすることは仕方のないことです。

施設では劣っていても「運営」と「歓迎」「ふれあい」つまり「まごころ」と「サービス」では、特に次代を担う高校生だけに、他に劣るようなことがあってはならないと思います。そんな思いで責任を痛感して来たところであります。

昭和三十六年の国民体育大会「まごころ秋田」国体は、大成功をおさめ、今でも語りつがれております。それだけに今回もどんな困難があろうとも克服し、成功させたいと実行委員会は努力していますが、最後のツメは「高橋生」の一人、「役運動」を含めて一人でも多くの市民の参加ということになります。どうぞ、よろしくご協力をお願いします。

伊山健治郎